

平成26年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月9日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第1四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第1四半期	1,317	△5.1	△141	—	△117	—	△60	—
25年4月期第1四半期	1,389	△15.9	17	△90.4	43	△78.0	30	△71.7

(注) 包括利益 26年4月期第1四半期 △40百万円(—%) 25年4月期第1四半期 13百万円(△81.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第1四半期	△16.26	—
25年4月期第1四半期	8.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第1四半期	8,087	5,319	65.8
25年4月期	8,284	5,434	65.6

(参考) 自己資本 26年4月期第1四半期 5,319百万円 25年4月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,809	0.2	1	△98.1	38	△71.3	22	△77.2	5.95
通期	5,840	2.9	113	—	268	48.1	160	30.5	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年4月期1Q	3,695,900株	25年4月期	3,695,900株
② 期末自己株式数	26年4月期1Q	104株	25年4月期	104株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年4月期1Q	3,695,796株	25年4月期1Q	3,695,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新政権による経済対策もあり、一部には回復の兆しが見えるものの、新興国の景気減速懸念や為替・株価の大幅な変動もあり、先行き不透明な状況も依然として続いております。

このような環境の中、当社グループが属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、ユニット・装置単位の受注が増加しております。また、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マイクロプロセッサ技術や自立支援装置等をはじめとした介護・医療ロボットの研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,317百万円(前年同四半期比5.1%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は210百万円(同24.4%減)、営業損失は141百万円(前年同四半期は営業利益17百万円)となりました。以下、東日本大震災にかかる東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、助成金収入等の営業外収益46百万円(同0.2%減)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用21百万円(同8.9%増)を減じた結果として、経常損失は117百万円(前年同四半期は経常利益43百万円)となりました。

福島県川内村に新設しました工場に要した費用の一部として当初の予定通り福島県川内村からの補助金を受領し、特別利益115百万円を計上し、その受領した補助金を固定資産圧縮損として特別損失に104百万円計上いたしました。これに税金費用△46百万円を計上した結果、四半期純損失は60百万円(前年同四半期は四半期純利益30百万円)となりました。

なお、平成24年6月6日に発表いたしましたとおり、当社オリジナル技術であるアルミホットダイカスト技術による量産品製造工場を福島県川内村に新設いたしました。当該工場開設に要した費用460百万円のうち、115百万円につき当初の予定通り、福島県川内村からの補助金を平成25年5月に受領しましたので、前述の通り、当第1四半期で圧縮記帳の処理を実施いたしました。尚、残額については、今後、福島県への完了報告後補助金が受領となる見込みであり、当該補助金受領後、圧縮記帳をする予定です。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

①試作・金型事業

携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカーを顧客としておりますが、一部企業の新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も厳しい展開となりました。この結果、売上高は963百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業損失63百万円(前年同四半期は18百万円の営業損失)となりました。

②量産事業

携帯電話等の情報通信機器メーカーならびに事務機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移

した結果、当社業績もその影響を受け低調な推移となりました。この結果、売上高353百万円(前年同四半期比21.1%減)、営業損失63百万円(前年同四半期は営業利益33百万円)となりました。

③その他

ヘルスケア関連製品の販売により、売上高は0百万円(前年同四半期比89.0%減)、営業損失15百万円(前年同四半期は1百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、8,087百万円となり、前連結会計年度末比197百万円の減少(前連結会計年度末比2.4%減)となりました。うち、流動資産は、3,682百万円となり、前連結会計年度末比119百万円の減少(同3.1%減)となりました。これは、受取手形及び売掛金が88百万円減少(同4.7%減)したことが主な要因となっております。固定資産は4,405百万円となり、前連結会計年度末比77百万円の減少(同1.7%減)となりました。

負債合計は、2,768百万円となり、前連結会計年度末比82百万円の減少(前連結会計年度末比2.9%減)となりました。うち、流動負債は、2,329百万円となり、前連結会計年度末比58百万円の減少(同2.5%減)となりました。これは、設備関係支払手形が169百万円増加(前連結会計年度末は該当無し)し、未払金が199百万円減少(同62.1%減)、短期借入金が100百万円減少(同8.3%減)したことが主な要因となっております。固定負債は、438百万円となり、前連結会計年度末比23百万円の減少(同5.1%減)となりました。

純資産は、5,319百万円となり、前連結会計年度末比114百万円の減少(前連結会計年度末比2.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想は、平成25年6月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

また、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,196,774	1,200,197
受取手形及び売掛金	1,862,426	1,774,271
商品及び製品	90,963	113,781
仕掛品	113,139	168,284
原材料及び貯蔵品	153,472	164,563
繰延税金資産	—	31,752
その他	385,765	247,865
貸倒引当金	△1,040	△18,670
流動資産合計	3,801,500	3,682,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,265,743	2,228,380
減価償却累計額	△976,752	△998,705
建物及び構築物(純額)	1,288,991	1,229,675
機械装置及び運搬具	2,733,590	2,718,389
減価償却累計額	△1,474,045	△1,550,220
機械装置及び運搬具(純額)	1,259,545	1,168,169
土地	985,483	984,816
リース資産	4,705	4,708
減価償却累計額	△3,759	△3,823
リース資産(純額)	945	885
建設仮勘定	86,100	86,100
その他	454,048	506,728
減価償却累計額	△236,358	△269,779
その他(純額)	217,689	236,949
有形固定資産合計	3,838,755	3,706,595
無形固定資産		
ソフトウェア	25,829	21,910
その他	4,735	9,538
無形固定資産合計	30,565	31,449
投資その他の資産		
投資有価証券	510,803	566,152
繰延税金資産	2,320	—
その他	105,545	184,107
貸倒引当金	△4,591	△82,874
投資その他の資産合計	614,079	667,385
固定資産合計	4,483,399	4,405,430
資産合計	8,284,900	8,087,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	499,318	506,859
設備関係支払手形	—	169,680
短期借入金	1,200,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	98,244	96,244
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	321,995	122,173
未払費用	105,479	114,505
未払法人税等	39,270	43,179
賞与引当金	58,453	53,045
繰延税金負債	16,850	—
その他	28,840	103,912
流動負債合計	2,388,451	2,329,599
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	96,061	73,500
退職給付引当金	9,367	9,272
役員退職慰労引当金	297,036	293,412
資産除去債務	8,118	8,143
繰延税金負債	26,928	29,812
その他	14,732	14,339
固定負債合計	462,244	438,480
負債合計	2,850,695	2,768,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,826,289	4,692,284
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,437,231	5,303,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,822	166,610
為替換算調整勘定	△149,849	△150,442
その他の包括利益累計額合計	△3,027	16,168
純資産合計	5,434,204	5,319,395
負債純資産合計	8,284,900	8,087,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
売上高	1,389,326	1,317,960
売上原価	1,110,407	1,106,977
売上総利益	278,919	210,983
販売費及び一般管理費	261,891	352,733
営業利益又は営業損失(△)	17,027	△141,749
営業外収益		
受取利息	24	20
受取配当金	5,451	5,618
助成金収入	11,038	5,309
スクラップ売却収入	7,494	6,332
受取補償金	19,413	25,078
その他	3,337	4,301
営業外収益合計	46,759	46,660
営業外費用		
支払利息	2,008	2,913
為替差損	457	1,348
シンジケートローン手数料	6,024	6,041
設備賃借費用	121	121
二本松工場遊休賃借費用	10,884	10,884
その他	649	630
営業外費用合計	20,145	21,939
経常利益又は経常損失(△)	43,641	△117,028
特別利益		
受取補償金	14,303	—
補助金収入	—	115,000
特別利益合計	14,303	115,000
特別損失		
投資有価証券評価損	4,842	—
固定資産圧縮損	—	104,232
特別損失合計	4,842	104,232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,102	△106,260
法人税、住民税及び事業税	△1,944	2,602
法人税等調整額	24,073	△48,774
法人税等合計	22,128	△46,171
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	30,973	△60,088
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,973	△60,088

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	30,973	△60,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,097	19,788
為替換算調整勘定	△10,894	△593
その他の包括利益合計	△16,992	19,195
四半期包括利益	13,981	△40,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,981	△40,893
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	936,898	448,216	4,211	1,389,326	—	1,389,326
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	476	—	—	476	(476)	—
計	937,375	448,216	4,211	1,389,803	(476)	1,389,326
セグメント利益又は 損失(△)	△18,100	33,967	1,104	16,971	56	17,027

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額56千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	963,998	353,497	464	1,317,960	—	1,317,960
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	—	—	464	(464)	—
計	964,463	353,497	464	1,318,425	(464)	1,317,960
セグメント損失(△)	△63,062	△63,180	△15,534	△141,777	27	△141,749

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント損失の調整額27千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。